



トワーム小江戸病院 玄関前にバス停留所設置

川越

川越市下老袋灰俵にある認知症専門病院「トワーム小江戸病院」(済陽輝久理事長)の玄関前にバス停留所「トワーム小江戸病院」が新たに設置された。写真。

同バス停留所は、東武バスウエスト川越06系統の「川越運動公園」と「トワーム小江戸病院入口」の間に設置され、平日往復計20本、土日祝日同26本が運行されている。

路線バスの民間施設への乗り入れはあまり例はないという。高齢化社会を迎えて増加の一途の認知症患者、高齢者が多くを

占める病院利用者にとって「足の確保」は大きな課題だった。このため、済陽理事長が東武バスウエスト(相川春雄社長)に打診し、同社が趣旨に賛同して関東運輸局に認可申請し、承認されて設置が決まった。同院玄関前までバスが乗り入れ、患者や見舞客らに好評という。(前田一光)

埼玉新聞 平成22年6月8日(火)

「トワーム小江戸病院」バス停留所設置
について掲載されました！